

北上川等堤防復旧技術検討会

報告書 資料編

16. 津波による堤防被災状況

北上川等堤防復旧技術検討会
国土交通省 東北地方整備局

阿武隈川津波被災詳細調査台帳

河川名	左右岸	距離	変状所見	被災タイプ分類 (中間報告)	被災タイプ分類 (第4回)	堤防構造分類	護岸タイプ	川裏・表被災	植生被災状況	落堀状況	裏小段状況	延長 (m)	
1	阿武隈川	右岸	0k000-169.3m~ 0k000-181m	・始点部が完全崩壊して、堤体は全く残存していない。	A	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 流失	全面流失	流失	有	-	11.7
2	阿武隈川	右岸	0k000-150m	・バラベツトは損壊し、裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端全壊している。 ・堤防としての機能は失われている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	19.3
3	阿武隈川	右岸	0k000-130.3m	・バラベツトは損壊し、天端部と裏法部は殆どが大崩壊している。 ・一部天端部が残存している箇所もあるが、深い亀裂が入っており、 ・堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	19.7
4	阿武隈川	右岸	0k000-115m	・バラベツトは損壊し、裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端の半分以上が崩壊している。 ・堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	15.3
5	阿武隈川	右岸	0k000-100m	・バラベツトは損壊し、裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端の半分以上が崩壊している。 ・堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	15.0
6	阿武隈川	右岸	0k000-84m	・バラベツトは損壊し、天端部と裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端部が残存している箇所もあるが、深い亀裂が入っており、 ・堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	16.0
7	阿武隈川	右岸	0k000-79m	・バラベツトは損壊し、裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端に大きな亀裂あり。 ・天端部が舗装が剥がれている。堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	5.0
8	阿武隈川	右岸	0k000-71.5m	・バラベツトは損壊し、裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端部が残存している箇所もあるが、舗装が浮いた状態で、 ・堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	7.5
9	阿武隈川	右岸	0k000-59.5m	・バラベツトは損壊し、裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端部が残存している箇所もあるが、舗装が浮いた状態で、 ・堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	12.0
10	阿武隈川	右岸	0k000-50m	・バラベツトは損壊し、裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端部が残存している箇所もあるが、舗装が浮いた状態で、 ・堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	9.5
11	阿武隈川	右岸	0k000-42.5m	・バラベツトは損壊し、天端部と裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端部が残存している箇所もあるが、深い亀裂が入っており、 ・堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	7.5
12	阿武隈川	右岸	0k000-28m	・護岸の損傷小さい。 ・バラベツトは損壊し、天端部と裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端部が残存している箇所もあるが、深い亀裂が入っており、 ・堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	14.5
13	阿武隈川	右岸	0k000	・始点+11.7m~0k000+70m間は、バラベツトの損壊、 ・堤防天端部から裏法部にかけて大崩壊が発生している。 ・なお、表法は護岸の一部に破損が見られるが、概ね残存している。 ・0k000+70m~0k200m間は堤防裏法部が大崩壊するものの、 ・堤防天端部および表法部は残存している。 ・また、バラベツト及び天端舗装も残存している。	C	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	28.0
15	阿武隈川	右岸	0k000+19.3m	・バラベツトは損壊し、天端部と裏法部は殆どが大崩壊している。 ・天端部が残存している箇所もあるが、深い亀裂が入っており、 ・堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	C	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	19.3
16	阿武隈川	右岸	0k000+56m	・バラベツトは損壊し、表法部を残して天端部と裏法部は全て崩壊している。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	B	A	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	36.7
17	阿武隈川	右岸	0k000+100m	・護岸の損傷小さい。 ・天端部は殆ど残っている。 ・堤内側法部は大崩壊しており、堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	C	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	44.0
18	阿武隈川	右岸	0k000+125m	・護岸の損傷小さい。 ・天端部は殆ど残っている。 ・堤内側法部は大崩壊しており、堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	C	B	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災小さい	川裏・天端流失	流失	有	-	25.0
19	阿武隈川	右岸	0k000+153.5m	・バラベツト及び天端部は残存している。 ・天端舗装の剥離も見られない。 ・裏法部は大きく崩壊し、上部法面の法尻に深堀が発生している。 ・小段下法面の法尻部においては落堀の形成が見られる。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災小さい	川裏侵食	流失	有	-	28.5
20	阿武隈川	右岸	0k000+180.5m	・護岸の損傷小さい。 ・天端部は殆ど残っている。 ・堤内側法部は崩壊しており、堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災小さい	川裏侵食	流失	有	-	27.0
21	阿武隈川	右岸	0k000+207.6m	・護岸の損傷小さい。 ・天端部は殆ど残っている。 ・堤内側法部は崩壊しており、堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。 ・堤外側の損傷は少ない。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災小さい	川裏侵食	流失	有	-	27.1

河川名	左右岸	距離	変状所見	被災タイプ分類 (中間報告)	被災タイプ分類 (第4回)	堤防構造分類	護岸タイプ	川裏・表被災	植生被災状況	落堀状況	裏小段状況	延長 (m)	
22	阿武隈川	右岸	0k000+250m	・護岸の損傷小さい。 ・天端部は殆ど残っている。 ・堤内側法部は崩壊しており、堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災小さい	川裏侵食	流失	有	-	42.4
23	阿武隈川	右岸	0k000+273.5m	・護岸の損傷小さい。 ・天端部は殆ど残っている。 ・堤内側法部は崩壊しており、堤防としての機能は失われている。 ・裏法部は津波の越流に起因する深い落堀が形成されている。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災小さい	川裏侵食	流失	有	-	23.5
24	阿武隈川	右岸	0k000+300m	・バラベツト、天端舗装は残存している。 ・裏法面の小崩壊、浸食が見られる。 ・堤内地側に大きな落ち堀りができている。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災小さい	川裏侵食	流失	有	-	26.5
25	阿武隈川	右岸	0k000+317m	・バラベツト、天端舗装は残存している。 ・裏法面の小崩壊、浸食が見られる。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災小さい	川裏侵食	流失	有	-	17.0
26	阿武隈川	右岸	0k200 (0k000+334m)	・堤防裏法の法面に崩壊と浸食が見られる。 ・堤防裏法の法尻から堤内地に落堀りが見られる。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災なし	川裏一部侵食	残存	有	-	17.0
27	阿武隈川	右岸	0k000+350m (0k200+16m)	・バラベツト、天端舗装は残存している。 ・裏法面の表土に流水による小崩壊、浸食が見られる。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災なし	川裏一部侵食	残存	有	-	16.0
28	阿武隈川	右岸	0k000+400m (0k200+66m)	・バラベツト、天端舗装は残存している。 ・裏法面の表土に流水による小崩壊、浸食が見られる。 ・堤内地ののり付近は、大きな変状はない。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災なし	川裏一部侵食	残存	無	-	50.0
30	阿武隈川	右岸	0k000+450m (0k200+116m)	・バラベツト、天端舗装は残存している。 ・裏法面の表土に流水による小崩壊、浸食が見られる。 ・堤内地ののり付近は、大きな変状はないが、 ・流出物により家屋が壊れている。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災なし	川裏一部侵食	残存	無	-	50.0
31	阿武隈川	右岸	0k000+474m (0k200+140m)	・バラベツト、天端舗装は残存している。 ・裏法面の表土に流水による小崩壊、浸食が見られる。 ・堤内地ののり付近は、大きな変状はないが、 ・流出物により家屋が壊れている。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災なし	川裏一部侵食	残存	無	-	24.0
32	阿武隈川	右岸	0k000+500m (0k200+166m)	・バラベツト、天端舗装は残存している。 ・裏法面の表土に流水による小崩壊、浸食が見られる。 ・堤内地ののり付近は、大きな変状はないが、 ・流出物が多く堆積している。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災なし	川裏一部侵食	残存	無	-	26.0
33	阿武隈川	右岸	0k400 (0k000+557.2m)	・バラベツトの損壊と、天端舗装の一部に剥離がある。 ・堤防裏法の法面に小崩壊と浸食が見られる。	D	C	土堤+バラベツト 残存	連接ブロック 被災なし	川裏一部侵食	残存	無	-	57.2
34	阿武隈川	右岸	0k400+21.2m (0k000+578.4m)	・バラベツトの損壊と、天端舗装の一部に剥離している。 ・堤防裏法の階段工周辺に深堀り、法面の小崩壊と浸食が見られる。	D	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災なし	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	21.2
35	阿武隈川	右岸	0k000+600m (0k400+42.8m)	・バラベツトが損壊し、天端舗装が剥離する。 ・堤防裏法の小崩壊、浸食、階段工治いの深堀りが見られる。	D	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災なし	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	21.6
36	阿武隈川	右岸	0k400+63m (0k000+620.2m)	・右岸0k400-57m~0k800m間にわたって、バラベツトの損壊、 ・天端舗装の剥離、裏法部の小崩壊、浸食が発生している。 ・特に階段工に沿った深堀りが見られる。 ・表法護岸には損傷は見られない。	D	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災なし	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	20.2
37	阿武隈川	右岸	0k400+64.8m (0k000+621.4m)	・バラベツトの損壊と、天端舗装が剥離している。 ・堤防裏法の小崩壊と浸食が見られる。 ・堤防裏法の階段工が損壊している。	D	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災なし	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	1.8
38	阿武隈川	右岸	0k000+650m (0k400+92.8m)	・バラベツトが損壊し、天端舗装が剥離する。 ・堤防裏法の小崩壊、浸食、階段工治いの深堀りが見られる。	D	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災なし	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	28.0
39	阿武隈川	右岸	0k400+111m (0k000+668.2m)	・バラベツトの損壊と、天端舗装の剥離がある。 ・堤防裏法の法面に、小崩壊と浸食が見られる。 ・堤防裏法の階段工周辺に深堀りが見られる。	D	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災なし	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	18.2
40	阿武隈川	右岸	0k000+700m (0k400+142.8m)	・バラベツトが損壊し、天端舗装が剥離する。 ・堤防裏法の小崩壊、浸食、階段工治いの深堀りが見られる。	D	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災なし	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	31.8
41	阿武隈川	右岸	0k400+161m (0k000+718.2m)	・バラベツトの損壊と、天端舗装の剥離がある。 ・堤防裏法の法面に、小崩壊と浸食が見られる。 ・堤防裏法の階段工周辺に深堀りがあり、法尻部の階段工は破損している。	D	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災なし	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	18.2
42	阿武隈川	右岸	0k400+183.8m (0k000+741.0m)	・バラベツトの損壊と、天端舗装の剥離がある。 ・堤防裏法の法面の崩壊と浸食が見られる。	D	B	土堤+バラベツト 流失	連接ブロック 被災なし	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	22.8

北上川等堤防復旧技術検討会資料

河川名	左右岸	距離	変状所見	被災タイプ分類 (中間報告)	被災タイプ分類 (第4回)	堤防構造分類	護岸タイプ	川裏・表被災	植生被災状況	落堤状況	裏小段状況	延長 (m)
43	阿武隈川	右岸	0k600 (0k000+765.5m)	・バラベットの損壊と、天端舗装の剥離がある。 ・堤防裏法の法面に、崩壊と侵食が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	24.5
44	阿武隈川	右岸	0k600+10.5m (0k000+776.0m)	・バラベットの損壊し、天端舗装が剥離している。 ・裏法部の小崩壊・浸食、階段工沿いの深掘れが発生している。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	10.5
45	阿武隈川	右岸	0k600+24m (0k000+789.5m)	・バラベットの損壊と、天端舗装の剥離がある。 ・堤防裏法の法面に、崩壊と侵食が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	13.5
46	阿武隈川	右岸	0k600+63.5m (0k000+829.0m)	・バラベットの損壊と、天端舗装の剥離がある。 ・堤防裏法工のブロックと透水シートとの剥がれがあり、 ブロック背面に空洞が見られる。 ・堤防裏法の階段工周辺に、深掘れと侵食が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏・川裏・天 端 侵食	流失	無	-	39.5
47	阿武隈川	右岸	0k600+77m (0k000+842.5m)	・バラベットの損壊し、天端舗装の剥離がある。 ・堤防裏法の法面に、崩壊と侵食が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	13.5
49	阿武隈川	右岸	0k000+850m (0k600+84.5m)	・バラベットの損壊し、天端舗装が剥離する。 ・堤防裏法の小崩壊、侵食が見られる。 ・堤防表天端の護岸と堤体間に空洞が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	7.5
50	阿武隈川	右岸	0k000+860m (0k600+94.5m)	・バラベットの損壊し、天端舗装が剥離する。 ・堤防裏法の小崩壊、侵食が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏・天端一部 侵食	流失	無	-	10.0
51	阿武隈川	右岸	0k000+900m (0k600+134.5m)	・バラベットの損壊し、天端舗装が剥離する。 ・堤防裏法の小崩壊が見られる。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏侵食	流失	無	-	40.0
52	阿武隈川	右岸	0k800 (0k000+922.0m)	・堤防天端舗装の一部に剥離が見られる。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏侵食	流失	無	-	22.0
53	阿武隈川	右岸	0k000+950m (0k800+28m)	・堤防裏法の階段工の防護柵の変形が見られる。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏一部侵食	残存	無	-	28.0
54	阿武隈川	右岸	0k000+1000m (0k800+78m)	・堤防表の天端に、バラベットと天端舗装に開きが見られる。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏一部侵食	残存	無	-	50.0
55	阿武隈川	右岸	0k000+1050m (0k800+128m)	・堤防裏天端舗装と坂路の境界にクラックが見られる。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏一部侵食	残存	無	-	50.0
56	阿武隈川	右岸	1k000 (0k000+1115.4m)	・特に大きな変状は見られない。		C	土堤+バラベットの 残存		残存	無	-	65.4
57	阿武隈川	右岸	0k000+1150m (1k000+34.6m)	・大きな変状は、見られない。		C	土堤+バラベットの 残存		残存	無	-	34.6
58	阿武隈川	右岸	0k000+1200m (1k000+84.6m)	・堤防表天端のバラベットと天端舗装に開きが見られる。		C	土堤+バラベットの 残存		残存	無	-	50.0
59	阿武隈川	右岸	0k000+1250m (1k000+134.6m)	・低水護岸の根固工（捨石）の一部流出が見られる。		C	土堤+バラベットの 残存		残存	無	-	50.0
60	阿武隈川	右岸	0k000+1279m (1k000+163.6m)	・一部バラベットが損壊し、天端舗装が一部剥離する。	D	C	土堤+バラベットの 一部流失	川裏一部侵食	残存	無	-	29.0
61	阿武隈川	右岸	0k000+1300m (1k000+184.6m)	・一部バラベットが損壊し、天端舗装が一部剥離する。 ・バラベットと天端舗装に開きが見られる。	D	C	土堤+バラベットの 一部流失	川裏一部侵食	残存	無	-	21.0
62	阿武隈川	右岸	0k000+1350m (1k000+234.6m)	・特に大きな変状はない。 ・バラベット天端の防護柵に、津波による流出物が見られる。		C	土堤+バラベットの 残存		残存	無	-	50.0
63	阿武隈川	右岸	1k200 (0k000+1403.8m)	・バラベットが損壊している。 ・天端舗装は残存している。 ・裏法部の小崩壊・浸食、階段工沿いの深掘れが見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	無	-	53.8

北上川等堤防復旧技術検討会資料

河川名	左右岸	距離	変状所見	被災タイプ分類 (中間報告)	被災タイプ分類 (第4回)	堤防構造分類	護岸タイプ	川裏・表被災	植生被災状況	落堤状況	裏小段状況	延長 (m)	
64	阿武隈川	右岸	1k200+54m (0k000+1457.8m)	・堤防裏法の階段工周辺に深掘れと侵食が見られる。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏侵食	流失	無	-	54.0	
65	阿武隈川	右岸	1k200+83.7m (0k000+1487.5m)	・堤防裏法の法面に小崩壊と侵食、法尻に深掘れが見られる。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏一部侵食	残存	無	-	29.7	
66	阿武隈川	右岸	1k200+117.7m (0k000+1521.5m)	・堤防裏法の法面の崩壊と侵食が見られる。 ・堤防裏法の坂路舗装の剥離がある。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏侵食	流失	無	-	34.0	
68	阿武隈川	右岸	0k000+1550m (1k200+146.2m)	・一部バラベットの損壊と天端舗装が剥離する。 ・堤防裏法の小崩壊、侵食が見られる。 ・堤防裏法の階段工周辺に、深掘れと侵食が見られる。 ・堤防裏側道の側溝の損壊、舗装の剥離が見られる。	D	C	土堤+バラベットの 一部流失	川裏侵食	流失	無	-	28.5	
69	阿武隈川	右岸	1k200+179.9m (0k000+1583.7m)	・堤防裏法の上段法面の崩壊と侵食が見られる。 ・堤防裏法小段の道路側溝が破損している。 ・堤防裏法の下段法面の崩壊と侵食が見られる。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏侵食	流失	無	-	33.7	
70	阿武隈川	右岸	1k200+214.7m (0k000+1618.5m)	・バラベット、天端舗装は残存する。 ・裏法面の浸食が見られる。特に小段下の法尻では落堤が形成されて いる。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏侵食	流失	有	-	34.8	
71	阿武隈川	右岸	0k000+1650m (1k200+246.2m)	・一部バラベット天端防護柵の変形が見られる。 ・堤防裏法の小崩壊、侵食が見られる。 ・堤防裏側道の側溝の損壊、舗装の剥離が見られる。	D	C	土堤+バラベットの 残存	川裏侵食	流失	有	-	31.5	
72	阿武隈川	右岸	0k000+1680m (1k200+276.2m)	・一部バラベットの損壊と天端舗装が剥離する。 ・堤防裏法の小崩壊、侵食が見られる。 ・堤防裏側道の側溝の損壊、舗装の剥離が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	有	-	30.0	
73	阿武隈川	右岸	0k000+1732m (1k200+328.2m)	・一部バラベットの損壊と天端舗装が剥離する。 ・堤防裏法の小崩壊、侵食が見られる。 ・堤防裏側道の側溝の損壊、舗装の剥離が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	有	-	52.0	
74	阿武隈川	右岸	0k000+1750m (1k200+346.2m)	・バラベットの損壊し、一部天端舗装が剥離する。 ・堤防裏法の小崩壊、侵食、階段工沿いの深掘れが見られる。 ・堤防裏側道の側溝の損壊、舗装の剥離が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	無	-	18.0	
75	阿武隈川	右岸	1k200+374.7m (1k400+5m)	・バラベットは損壊するが、天端舗装は残存する。 ・裏法面の浸食が見られる。特に小段下の法尻では落堤が形成されて いる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	有	-	28.5	
76	阿武隈川	右岸	0k000+1800m (1k400+26.5m)	・バラベットが損壊する。 ・堤防裏法の小崩壊、侵食が見られる。 ・堤防裏側道の側溝の損壊、舗装の剥離が見られる。 ・堤内地に落堤が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	有	-	21.5	
77	阿武隈川	右岸	1k200+417.2m (1k400+47.5m)	・バラベットの損壊と、天端舗装の一部剥離している。 ・堤防裏法の上段法面の崩壊と侵食が見られる。 ・堤防裏法小段の道路側溝が破損している。 ・堤防裏法の下段法面の崩壊と侵食が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	有	-	21.0	
78	阿武隈川	右岸	0k000+1850m (1k400+76.5m)	・バラベットが損壊する。 ・堤防裏法の小崩壊、侵食が見られる。 ・堤防裏側道の側溝の損壊、舗装の剥離が見られる。 ・堤内地に落堤が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	有	-	29.0	
79	阿武隈川	右岸	1k200+469.7m (1k400+100m)	・バラベットの損壊と、天端舗装の一部剥離している。 ・堤防裏法の上段法面の崩壊と侵食が見られる。 ・堤防裏法小段の道路側溝が破損している。 ・堤防裏法の下段法面の崩壊と深掘れが見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	有	-	23.5	
80	阿武隈川	右岸	1k200+496.2m (1k400+126.5m)	・バラベットの損壊と、天端舗装の一部剥離がある。 ・堤防裏法の上段法面の崩壊と侵食が見られる。 ・堤防裏法小段の道路側溝の損壊がある。 ・堤防裏法の下段法面が流出している。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	有	-	26.5	
81	阿武隈川	右岸	0k000+1915.6m (1k400+142.1m)	・バラベットが損壊する。 ・堤防裏法の小崩壊、侵食が見られる。 ・堤防裏側道の側溝の損壊、舗装の剥離が見られる。 ・堤内地に落堤が見られる。	D	B	土堤+バラベットの 流失	川裏侵食	流失	有	小段侵食	15.6	
82	阿武隈川	左岸	0k200-20.6m ~ 0k200-78m	・0k200-42m~0k200-78m間において、天端舗装の剥離、 裏法士の流出・崩壊、表法部の補工破損が生じている。 ・0k200-20.6m~0k200-42m間においては、表法士の流出 ・崩壊が生じている	D	B	土堤	格子張りの 一部破損	川裏・天端・川 裏 侵食	流失	無	小段上部 侵食	57.4
83	阿武隈川	左岸	0k400-67 ~ 0k400-87m	・坂路取付け部の裏法が崩壊する。 ・津波の越流に起因すると推測される	D	B	土堤	-	川裏侵食	一部流失	無	小段上部 侵食	20.0
84	阿武隈川	左岸	0k400+73m (新浜水門) ~ 0k600-54m	・新浜水門取付け部より上流において、取付け護岸の破損、堤防天 端の沈下、裏法の崩壊が生じている。 ・これらの破損は津波による越流に起因すると推測される	D	B	土堤	格子張りの 破損	川裏侵食	流失	無	小段流失	67.2

名取川津波被災詳細調査台帳

Table with 12 columns: 河川名, 左岸, 距離, 変状所見, 被災タイプ分類 (中間報告), 被災タイプ分類 (第4回), 堤防構造分類, 護岸タイプ, 川裏・表被災, 植生被災状況, 陥没状況, 小段状況, 延長 (m). Rows 1-22.

Table with 12 columns: 河川名, 左岸, 距離, 変状所見, 被災タイプ分類 (中間報告), 被災タイプ分類 (第4回), 堤防構造分類, 護岸タイプ, 川裏・表被災, 植生被災状況, 陥没状況, 小段状況, 延長 (m). Rows 23-42.

北上川等堤防復旧技術検討会資料

43	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.26	堤内)・津波の洗掘被害で表面植生と盛土が流出している。 天端)・津波による被害は認められない。 堤外)・津波による大きな被害は認められない。	D	B	土堤	-	川裏侵食	川裏侵食	有	-	50
44	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.27	堤内)・津波の洗掘被害で表面植生と盛土が流出している。 天端)・津波による被害は認められない。 堤外)・津波による大きな被害は認められない。	D	B	土堤	-	川裏侵食	川裏侵食	有	-	50
45	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.27・10m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波による表層流出の被害が認められる。 堤外)・洗掘による表層流出の被害が認められる。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	10
46	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.27・45.4m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・洗掘による表層流出の被害が認められる。 堤外)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	35.4
47	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.28・25m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波の洗掘被害を大きく受け、天端の形態を呈していない。 堤外)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。	C	A	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	29.6
48	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.30・15m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・天端は、津波の洗掘被害を大きく受け、天端の形態を呈していない。 堤外)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。	C	B	土堤	連続ブロック 流失	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	60
49	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.30・15m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波の洗掘被害を大きく受け、天端の形態を呈していない。 堤外)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。	C	B	土堤	連続ブロック 流失	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	30
50	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.31・10m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波洗掘によるのり面近傍の表層流出の被害が認められる。 堤外)・津波の洗掘被害を大きく受け、部分的にのり面の形態を呈していない。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	45
51	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.32・10m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波洗掘による表層流出の被害が認められる。 堤外)・津波の洗掘被害を大きく受け、部分的にのり面の形態を呈していない。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	50
52	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.32・35m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波洗掘による表層流出の被害が認められる。 堤外)・津波洗掘による表層流出の被害が認められる。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	25
53	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.33	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波洗掘による表層流出の被害が軽微である。 堤外)・津波洗掘による表層流出の被害が認められる。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	-	-	15
54	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.34・39.4m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	89.4
55	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.35・25m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波の洗掘による表層流出の被害が認められる。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	35.6
56	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.36・10m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波の洗掘による表層流出の被害及び亀裂が認められる。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	35
57	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.38・30m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波の洗掘被害で表面植生と盛土が流出しているが、津波による大きな洗掘被害は認められない。	C	B	土堤	-	川裏・天端侵食	川裏・表侵食	有	-	120
58	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.40・10m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波の洗掘被害で表面植生と盛土が流出しているが、津波による大きな洗掘被害は認められない。	C	B	土堤	-	川裏・天端侵食	川裏・表侵食	有	-	80
59	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.41・5m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波の洗掘被害で表面植生と盛土が流出しているが、津波による大きな洗掘被害は認められない。	C	B	土堤	-	川裏・天端侵食	川裏・表侵食	-	-	45
60	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.42	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・沈下板近傍は大きく陥没する。 堤外)・津波の洗掘被害で表面植生と盛土が流出しているが、津波による大きな洗掘被害は認められない。	C	B	土堤	-	川裏・天端侵食	川裏・表侵食	-	-	45
61	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.44・10m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波の洗掘被害で表面植生と盛土が流出しているが、津波による大きな洗掘被害は認められない。	C	B	土堤	-	川裏・天端侵食	川裏・表侵食	-	-	110
62	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.46・10m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波による大きな洗掘被害は認められないが、のり面箇所に亀裂(L=30m、F=60cm、W=20cm)が生じている。	C	B	土堤	-	川裏・天端侵食	川裏・表侵食	有	-	100

北上川等堤防復旧技術検討会資料

63	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.49・10m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波の洗掘による表層流出の被害が認められる。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	100	
64	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.49・15m	堤内)・津波による洗掘被害が認められ、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波の洗掘被害で表面植生と盛土が流出している。	C	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	55	
65	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.49・28m	堤内)・津波による洗掘被害が認められる。 ・のり面位置が不明のため被害の寸法は不明である。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波による表層流出の被害が認められる。 堤外)・津波の洗掘被害で表面植生と盛土が流出している。	D	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	-	-	13	
66	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.52・30m	堤内)・津波の洗掘被害を受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された。 堤外)・津波による表層流出の被害が認められる。 堤外)・津波洗掘による表層流出の被害が認められる。	D	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	92	
67	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.53	堤内)・津波の洗掘による表層流出の被害が認められる。 天端)・作業用車両の通行のために、被害箇所は修復された可能性がある。 堤外)・津波の洗掘被害で表面植生と盛土が流出している。	D	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	有	-	80	
68	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.56・20m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波による表層の洗い出しを受ける。 堤外)・津波の洗掘による表層流出の被害が認められる。 ・坂路が陥没している。	D	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	-	-	170	
69	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.58・18m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波による舗装部の被害を受けていない。 堤外)・津波による大きな被害は認められない。	D	B	土堤	-	川裏侵食	川裏侵食	-	-	62	
70	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.60	堤内)・津波による大きな被害は認められない。 天端)・津波による表層の洗い出しを受けていない。 堤外)・津波による大きな被害は認められない。		B	土堤	-	-	-	-	-	118	
71	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.60・25m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波による表層の洗い出し(アスファルトの剥離)を受ける。 堤外)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。	D	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	-	-	25	
72	名取川	左岸	〔跡塚地区〕 No.60・41m	堤内)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。 天端)・津波による表層の洗い出しを受けていない。 堤外)・津波の洗掘被害を大きく受け、のり面の形態を呈していない。	D	B	土堤	-	川裏・天端・表 侵食	川裏・表侵食	-	-	16	
		合計							A	0	0			5,685.1
									B	645	795			
									C	1780.8	0			
									D	1689.2				

